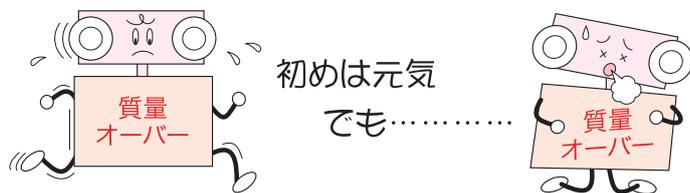


# 折戸金具に関するQ&A

## 対応範囲について

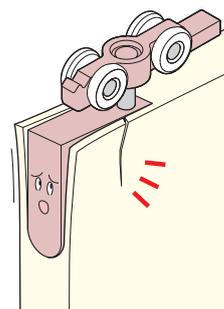
**Q1** 「折戸1組の総質量」制限を超えた場合は、どうなりますか？

**A1** 使用条件にある折戸1組の総質量を2、3kgオーバーした程度では折戸の開閉操作で支障を感じる事はありません。しかし、10kgオーバーともなると、戸の開閉操作が重くなるなどの違いを感じるようになってしまいます。いずれの場合も、戸を吊り込んだ途端に金具が壊れてしまうという現象は発生しません。しかし、使用条件にある総質量からオーバーする質量が大きくなればなるほど、操作性が悪くなり、金具の劣化が早く進み、寿命が短くなるという現象がおこります。各システムの使用条件は、金具を長く安心してご使用していただけるように設定されていますので、お守りください。



**Q2** 「戸厚」制限以下の薄い折戸に使用すると、どうなりますか？

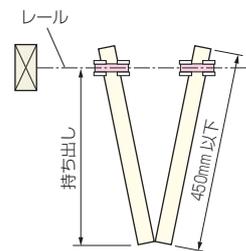
**A2** 戸厚の制限は、取付ける金具自体の寸法・取付ねじの寸法などの条件から設定されています。そのため、戸厚が使用条件よりも薄い折戸に金具を取付けようとした場合、金具の取付用掘込み加工後の板厚残りが少なくなり、その部分が反ったり割れたりしてしまふことがあります。また、丁番の取付ねじも短いものに変える必要があるかもしれません。その場合、取付ねじが短くなった事で丁番を固定する力が弱くなってしまふことがあります。



特殊な例を除いては、カタログに記載されている使用条件の範囲内で、ご使用ください。

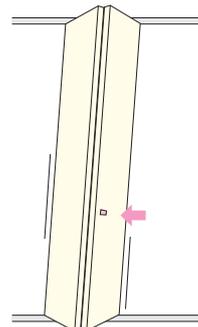
**Q3** カタログでは、多くの機種で折戸1組の幅が900mm以下と記載されていますが、どのような理由があるのですか？

**A3** 折戸の幅が広すぎると戸を折った時(戸を開けた時)にレールからの持ち出しが大きくなり、スムーズな開閉操作ができなくなります。また、金具の劣化が著しくなってくる限界点が1枚あたりの幅が450mm付近であることが分かっています。そのため、使用条件を折戸1枚450mm以下、すなわち1組で900mm以下としています。



**Q4** 折戸の高さに制限はありますか？

**A4** 使用条件に戸の高さ制限の記載がないシステムは、特に制限はありません。しかし、使用条件の戸幅・戸厚・総質量の制限を考慮すると、高さは必然的に1800~2300mm位に限定されてきます。また、フリーオープンタイプの場合、折戸の高さが高くなりすぎると、相対的に取手の位置が低くなり、折ったままの状態を動かすときに、折戸が傾き、操作性が悪くなる場合があります。



- 1 ドア錠
- 2 丁番
- 3 スライド丁番
- 4 開き戸金具
- 5 引戸錠
- 6 引戸金具
- 7 上吊式引戸金具
- 8 移動間仕切金具
- 9 折戸金具
- 10 室内用アルミ建具
- 11 取手・引手
- 12 スラトレールワイヤーバスケット
- 13 収納・吊金具
- 14 その他の家具金物
- 15 物干金具・諸金具
- 16 真鍮アンティーク
- 設計施工ガイド
- 会社案内